

工事施工の問題点及び解決

株式会社 グロージオ
ナベシマ イワジ
鍋島 五和次

工事名 平成23年度 駿河海岸保線施設整備工事

工事箇所 静岡県 焼津市高新田地先

工期 平成23年 10月28日 から 平成24年 3月21日 まで

請負金額 ￥161,805,000-

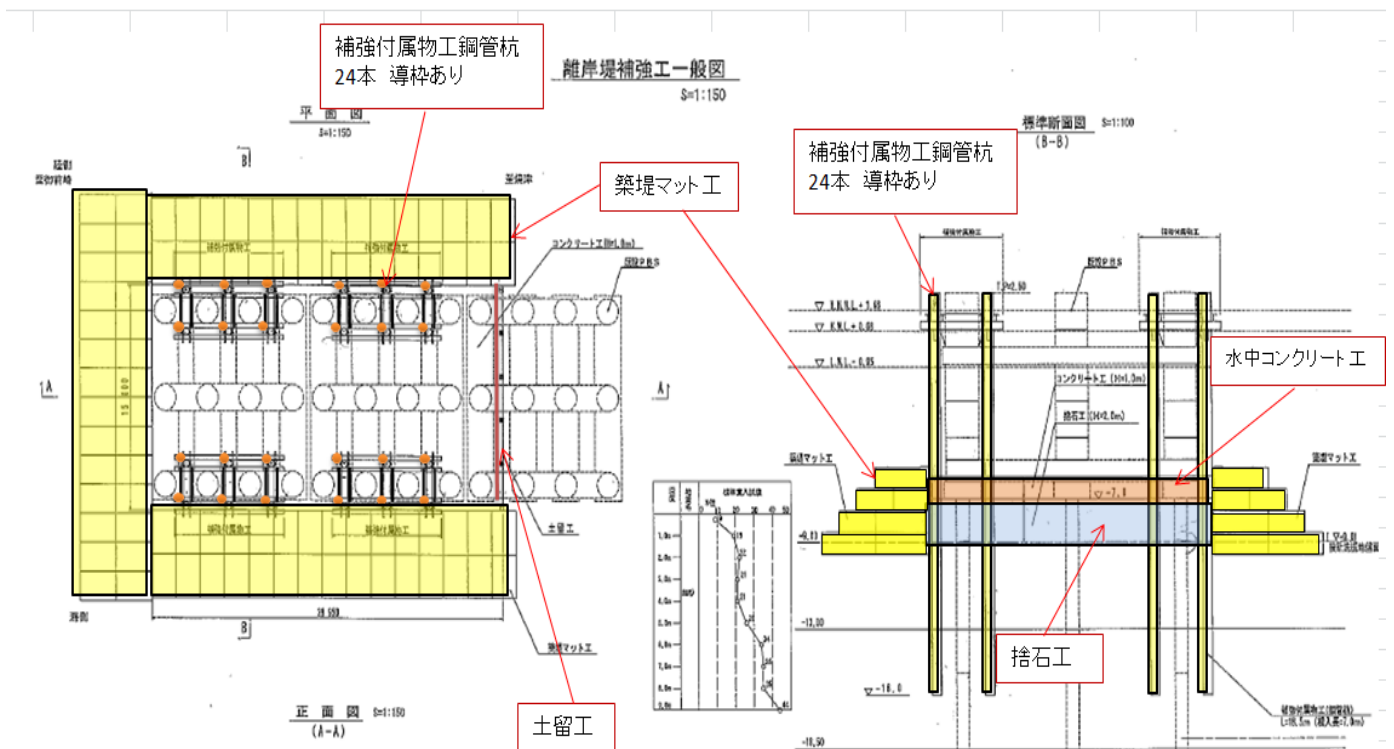
発注者 静岡河川事務所 駿河海岸出張所

工事内容 離岸堤補強工

捨石工（購入・流用）800m³ 築堤マット工（製作、運搬、据付257個） 鋼管杭打設 24本
水中不分離性コンクリート運搬・打設418m³ 土留工 仮設工

当工事は、海岸汀線より150mほど離れた離岸堤の補強工事である。

施工図面



問題点 1

離岸堤は井桁のような構造になっていて、捨石投入（20cm内外）時離岸堤を損傷する恐れがある。

解決 1

現地調査時離岸堤の構造物の幅を確認、大型のホッパーを加工し、捨石を行った。またホッパーが使えない場所については、ワイヤームックを使用捨石を行った。

結果離岸堤を損傷することなく作業できた。

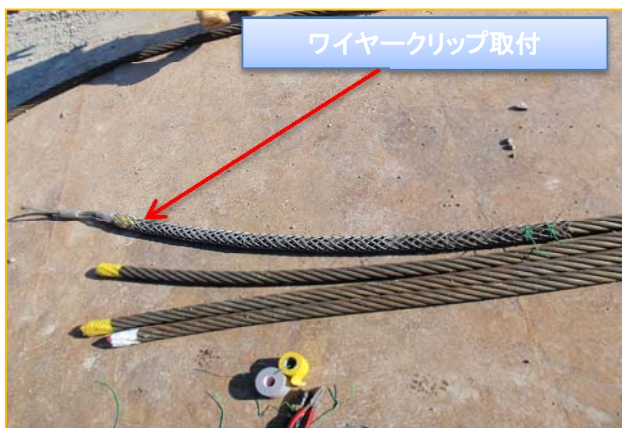


問題点 2

40mmのワイヤーの設置があるが、人力では太すぎて施工が困難である。本数も144本と非常に多い。

解決 2

協力業者と検討結果、ワイヤークリップを使用し、クレーン船のクレーンにて軽く張った後、チリホールを使用、多少時間はかかったが確実な施工が出来た。



問題点 3

工期の後半海象状況が悪く、1船体制では工期割れが懸念された。

解決 3

何としてでも工期割れは避けたい。費用は掛かるが2船体制での施工を協力業者に依頼、その無理にも答えてもらい2船体制での施工を行った。特にコンクリート打設作業を協力してもらい本来の1/2に工程を短縮した。

最後の1週間は海象状況に恵まれ、実質1週間で2週間分の作業をこなす事が出来た。



最後に

他にも色々問題はあった。コンクリート打設時ポンプ打設の為、どうしてもモルタルが必要となりミキサー車1台分ロスをする。ポンプ屋さんの提案で、モルタルの代わりにスリックパワーを使用モルタル不要となり、1台分のロスがなくなった。

また船を2船にしても、潜水士が同じ人数では作業の効率化はできない。

潜水士さんには無理を言ったかもしれないが、作業状況によっては2倍以上の潜水士を手配してくれた。

生コンも、我々施工業者だけがいくらきんでも配達業者に協力してもらわなければならない。

1日当り10t車14台と固定である。海象状況によっては、朝中止、途中で中止といった問題がある。

その14台の要望、又早朝早くからの要望等すべてに答えてもらった。

12月こそ、通常の作業ができ、スムーズに進んだが、1月、2月、3月と本当に厳しい工程であった。

最初、工事開始前、誠意ある仕事をしよう。とスタートを切った。

12月、1月、2月、3月の安全大会、安全訓練、災防協、等にも訴えてきた。

我々が掲げた、この現場の目標は、協力業者みんなに伝わり、そのみんなの力が集結したからこそ完成し、好結果も出たと思っている。

1人の力は小さな力であるが、集結された力は、限りなく大きな力になる事を感じた。

この工事に係わった、河川事務所の皆さんには勿論、協力業者の皆さんにも心からお礼を申し上げます。

ありがとうございました。